



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎ (095) 822-0680 FAX (095) 824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく！」
～地域と共に生きる長崎同友会 会勢600名を達成しよう!～

第17回 女性経営者全国交流会 in 熊本

生活者の視点で いのちとくらしを守るため
今こそ集おう! 全国の太陽たち

会社の元気を 地域の元気に 女性が学ぶ! 女性に学ぶ! 共に学ぶ!

開催日: 6月12日(木)・13日(金) 会場: ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

第1分科会

出逢いを大切に
まごころ(志)で奇跡をおこす
笑顔から生まれる成長の芽

(株)あおば 代表取締役 宇田川 真由美 氏
茨城同友会 支部幹事



佐世保支部 松尾 慶一

今回三つの大きな感動を
貰って帰りました。一つ目
は今回の実行委員長の早咲
京子さんのご活躍ぶりです。
5年前にお会いした時の物
静かな女性というイメージ
から女性経営者部会(くま
もとソレイユ)でメキメキ
と台頭されました。元々、
頑張り屋さんなのでしょう
が、役が人を作るという言葉
を体現され、副代表理事
も務めながら今回の大会を見
事に成し遂げました。スピー
チも威風堂々とし全ての参
加者に対して心のこ



もった素晴らしい内容でした。その中で現時点では
まだ女性の経営者が学ぶという表現が使われていま
すが、将来は男性や女性で区別せず人として経営者
として学べる様な環境を作ろうと言われたのが印象
的でした。

二つ目は第1分科会の宇田川真由美さんです。美容
師の母の夢を叶える為に介護事業を立上げ、幾多の困
難に立ち向う中に人材育成の必要性を強く感じて介護
員養成事業に着手し、更には福祉タクシーへの展開も
事業化され利用者、社員、経営者の垣根を超えた経営
を实践されていました。

目次

第17回女性経営者全国交流会 in 熊本 参加報告...	1	福岡同友会 合同企業説明会 参加報告	14
例会報告	6	事務局企業訪問	14
佐世保支部企業訪問	11	中同協 第4回幹事会 参加報告	15
委員会活動一覧	12	新入会員紹介	16
会員活躍	12	8月例会案内	17
ダイヤモンドクラブ例会 参加報告	13	理事会議事録 抜粋	18
		会員消息	18

三つ目は記念講演です。農家のお嫁さんが九州初の女性町長として男性社会での差別に合い、不当拘留221日という理不尽な扱いを受けても決して屈する事なく壮絶な戦いの結果に無罪を勝ち取られ、改めて男女格差、地域格差などの是正が必要だと説かれました。またその中に、現代の大きな教育問題が隠されていました。誰もが体験して来た事ですが、親が子に、〇〇ちゃんは男だからしっかりせんばと、〇〇ちゃんは女やっけんお淑やかにせんばと言いつけて来まし

た。その結果、気弱な男性は必要以上にプレッシャーをかけられ自殺やうつ病に追い込まれるケースが増えているし、女性は結婚して専業主婦が一番だと刷り込まれてきた。しかし、これからの日本を社会を変えて行くには、男として女としてではなく、人として個々人の能力を最大限に発揮出来る環境を整備していく事で成し得るのだと結ばれました。

以上三つの感動を長崎でも実現したいと痛感しました。

第2分科会

士業における 組織経営を目指して

トップの思いを伝えるパートナーの役割

司法書士法人 小屋松事務所 代表社員 小室松 徹彦 氏
熊本同友会 代表理事

司法書士法人 小屋松事務所 執行社員 村中 順子 氏
熊本同友会 支部幹事

諫早支部 村山 和幸

当初「女性」と銘打っていましたので参加するつもりではなかったのですが、男性も多いとの話でしたし熊本開催と近県でしたので参加することにしました。

初日全体会にて問題提起が行なわれた後、当方は第2分科会の熊本同友会 代表理事で司法書士法人代表社員の小室松徹彦さんと同執行社員の村中順子さんの報告を聞きました。

当方も仕事柄司法書士と会う機会が多いので報告内容には興味を持っていました。何故法人化したのか？その根拠やパートナー選びの基準など士業独自の悩みを克服し、さらに「人を生かす経営」の実践の為経営指針の作成などを実践し、今なお全社一丸の社風作りを行なっています。また、村中さんは古い社員との



コミュニケーションの取り方や指針の実践について社員との議論を重ねて進めています。ただ、小室松さんは女性の従業員の対応には「面倒くさい！」点もあるといい、男性社員には無い気遣いが必要だとも語られました。当方もいずれ余裕が持てたら女性社員の雇用を考えていますので、

将来の参考になりました。グループディスカッションでもパートナーについて議論しましたが、『すべての従業員をパートナーと呼べる存在へ変えていくことが重要』と自テーブルではなりました。

2日目の全体会の記念講演で中嶋玲子さんの話を聞いてとても感動しました。男女差別や理不尽な扱いなどと戦った過去を包み隠さず披露し、今後男とか女とかではなく『人らしく』生活できる社会にしていこうと語られました。女性への差別を無くし女性の社会進出を唱えられました。

今回参加させていただき、改めて女性のパワーを感じましたし、近々女性上位の社会になると確信しました。

同友会事務局 峰 圭太

第17回女性経営者全国交流会に参加させていただきました。

私は第2分科会に参加させていただきました。報告者は司法書士法人小屋松事務所代表社員で熊本同友会代表理事もされている小室松さんと、同事務所執行社員村中さん（熊本同友会支部幹事）でした。永続的なサービスを提供するため個人事務所を法人化したいと考えていた小室松さんは同じ熊本同友会で若手として活躍されていた司法書士の村中さんを事務所へお誘いし、村中さんは小室松さんの経営指針書を見た瞬間、一緒にがんばろうと即座に決意されたそうです。男性所長のパートナーとして女性である村中さんがベテラン所員との間をバランスよく保ち、経営指針の浸透を図っていった経緯をお聞きするとやはり根底にぶれない経営指針があることが何よりも組織としての強みになることをあらためて確認できました。ディスカッションにおいても、パートナーとしての定義の議論か



ら最終的には経営指針書の必要性を感じる事ができました。

2日目の記念講演は九州初の女性町長でも知られる中嶋玲子さんでした。軽快な口調で、しかしそこには女性として社会に対する思いがしっかりと込められており、とても力強いお話をいただきました。現代の社

第5分科会

女性も活躍できる企業づくりで 社員も成長、会社も発展

社員の活躍の場を戦略的に創出した背景と実践に学ぶ

(株) エステム 代表取締役会長
愛知同友会 理事 (中同協・会長)

鋤柄 修 氏

(株) エステム 取締役

塩崎 敦子 氏

五島支部 辻 千穂子

12日の朝、長崎駅前で長崎支部の女性会員4名の方と合流し一台の車に乗り合わせて熊本に向かった。道中の社内ですでにグループ討論さながらの意見交換が行われ本会への意欲も自ずと湧いた。

この日の分科会では愛知同友会理事の倉田満美子さんが座長を務められ、テーマである「女性が・・・」を「女性も・・・」に変更することを提案され会場一致で決定された。報告者の中同協会長の鋤柄さんは水処理施設のプラント設計、施工、メンテナンスを行う会社の会長で、いわば男性中心の業界に何のためらいもなく女性を雇用した。しかし、そこに入社したもう一人の報告者の塩崎さんによればトップの考えが男女均等でも実際はまだまだ均等とはいかず最初はコピーとお茶くみが仕事だったと言う。しかし、自ら志願して水

処理の現場で働き10年目に女性初の課長に就任、現在は取締役となった。『女性初』にはいつも緊張し実力を認めてもらう為には常に人並み以上の努力が必要と語った。

グループ討論では女性社員の定着率が悪かったので勤務時間等を考慮した結果上がったという意見があり、男女共に働きやすい職場環境を整えることが重要であるが、あくまでも制度は社員自らが考え提案していく事が望ましいという意見が出て、望まないものを作っても意味がないと納得できた。

2日目の中嶋玲子さんの記念講演では男女共同参画の歴史と真の意味を学ぶことができた。又、男女がそれぞれに生物学性差を十分理解しあった上で社会的性差を無くしていく事が大事であると感じた。残り時間5分になってから私が一番聞きたいと思っていた中嶋さんが町長時代に221日間の拘留を受けた話しを始めた。拘留中町民が1日平均4名片道2時間をかけて面会に訪れた事、息子さんから届いたたった2行の手紙。その短い話の中から中嶋さんの人となりを知ることができ聞く者の心をとらえ多くの人が涙した。その後のグループ討論では子育てや教育の段階からしっかりと男女共同参画を教えていくことが未来の輝く社会を築くことになるかと話し合った。

とても有意義な大会に参加することができ感謝の気持ちでいっぱいです。

佐世保支部 山領 進

初日の分科会は、鋤柄会長率いる(株) エステムの社員さんの報告でした。エステムの業種業態は今回初めて知ったのですが、汚水処理を中心とした水処理をする仕事で、普通に考えると女性にはあまり馴染まない会社であることが分かりました。そんな中、エステムは10数年の年月をかけ、仕事に女性も男性も無いんだという鋤柄会長の想いを具現化していけます。社員の声を反映させた育児支援制度の整備をきっかけに、全社員のライフプランに応じた働き方を模索し、社員ひとりひとりがいきいきと活躍できる企業が形づくられているようです。

2日目の中嶋玲子さんの話は圧巻でした。中嶋さんは、農家に嫁がれ農業に従事する、ごく普通の女性でした。その環境はまさしく旧態依然とした男尊女卑の超格差社会。しかし、あるきっかけで農業研修の海外セミナーに

参加し、カルチャーショックを受けられます。女性の自立が必要であることを強く感じ、地元杷木町で色々な活動に従事し、町議会議員を経て杷木町長を務められています。お話を聞いていて強く感じたのは、社会生活の中では、全ての人が徹底してお互いを認めあい生きていくという思想です。女性経営者全国交流会という、職業女性の社会進出のような話ばかりが前面に出てくるようなイメージがありましたが、中嶋さんの話は、女性も男性も老いも若きも、障がいをもたれた方も健常者も共に生きていこうという思想が貫かれていました。講演の終盤に披露された不当逮捕による七ヶ月にわたる拘留の中で、地域の人々との信頼関係、絆の強さそして決して折れることのなかった信念の話には、胸が熱くなりました。

最後に中嶋さんが与えて下さった言葉を紹介して終りにします。「身を鍛え、心を鍛えて、世の中に立ちて甲斐ある」

第6分科会

夫婦二人三脚 社長の『想い』を店作りに

魅力あるお店づくりは「ありがとう」のシャワーで

(株) 有喜屋 専務取締役
京都同友会 西京支部支部長

三嶋 一枝 氏

諫早支部 杉本 誠二郎

玄関先、盛大なお出迎えを受け緊張して入場した。全国から550名の出席者の中、全体会がスタートし

た。県知事のご挨拶と同時にくまモンが登場し、場が和む。来賓挨拶の後、問題提起として糸数久美子中同協女性部連絡会代表より人間の命の尊さ、他国の原発廃止の意義。原発に頼らないで、中小企業だから出来るアイディアがあり、女性起業家だから出来ることがあるはずと問う。

第6分科会に出席。三嶋一枝さんの報告でした。

最初、銀行は改装資金300万を借りに行くもだめだった。信用が付くまで歯を食い縛ってがんばろうとその時、思った。京都のうどん文化が支流だったが、そば文化も認めさせたかった。

昭和55年、23歳で現社長と結婚。社長は職人気質で指針は作らなくて良いとの意見。自社ビルを建て仕事に没頭し、京都ホテルオークラ店開業など邁進していた。社長は職人。実務は専務の役割。ダシとりは自分。社長は同友会に否定的であった。原料のそば畑も作る。弟子への暖簾分けなど果たしながら、同友会で学ぶ機会が増え、経営理念・指針を物まねから始め作り上げていった。その後、社長が脳動脈瘤で緊急手術。この時に経営指針書があることで自信をもってやれたと言う。同友会の素晴らしさを実感したとのこと。人間関係はありがたいのシャワーが大切だとも説く。会社内部組織の作り方、就業規則など同友会仲間と作った。今ではフェイスブック・ライン使用で意志の疎通

■ 2日目中嶋玲子さんの講演

元女性町長の女性の想いと偏見に対する想い。男性と女性のお互いの偏見、決めつけのお話しがとてもストレートで強烈で、どんどん引き込まれる内容でした。女性の方々が改めてありがたく思えた瞬間でした。女性らしいとか、男性らしいとか言うのはおかしい。お互いの認識を変えることが大切と説かれました。

出席された長崎同友会の皆さん、特に出席された女性会員の方々の結束が、揺るがないものになられたようです。ありがたい気持ちにさせていただいた女性経営者全国交流会でした。

諫早支部 廣谷 慎也

報告者、株式会社有喜屋（専務取締役）の三嶋一枝さんは、夫である社長が家業を受け継ぐ際の強い思いを受け止め、そば屋の女将になりました。この報告を聞いて一番印象に残ったのは、夫婦、家族、社員の信頼関係を構築することが如何に大切かということ、また経営指針書の大切さを改めて実感しました。

そば職人である社長の思いを、経営指針書にまとめ、その思いを社員に伝える事が自分の役割だと決意され、実行に移されました。社長が病気で倒れられ、不安になっているときの社員からの言葉「社長の思いは経営指針書に全て書いてあるから大丈夫です！」もしこの時、経営指針書がなかったら、社員は路頭に迷っていたかもしれません。経営指針書は社長の思いを社

員に伝える事ができる最も大切なものだという事にあ
らためて気付かされました。また、社員との信頼感
があったからこそ、この経営指針書の共有化をはか
る事が出来たのではないかと思います。社員とのコ
ミュニケーションを密に取る事が大切だと言う事も
学びました。

同友会活動にも積極的に参加され、同友会で学んだ事を実践したことが、今の有喜屋の発展につながっていると話されておりました。同友会では沢山の学びがありますが、学ぶだけではただの学びで自己満足に終わってしまう。学びを実践する事が如何に大切かと言うことを毎回感じさせられます。今後も同友会での学びを一步ずつ確実に実践していきたいと思っております。

佐世保支部 前川 優也

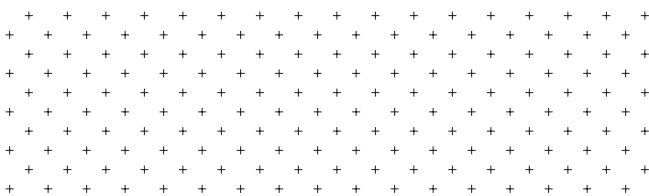
女性経営者全国交流会に参加させていただきました。同友会に入会して間もない私でしたが、今まであまり女性経営者のお話を聞く機会がありませんでしたので、興味を持ち陽の国熊本に駆けつけました。1日目は第6分科会に参加しました。報告者の京都同友会の三嶋一枝さんは、(株)有喜屋の専務取締役として、京都市内6店舗・大阪1店舗のそば料理店を営んでおられます。現社長の家業を継いで夫婦二人三脚で始められた頃から現在の多店舗拡大に至るまでのお話をされました。

順風満帆に見える経営も、社長の病気や店舗拡大による社員さんとの、また社員さん同士のトラブルなど問題点が続出。そんな時に同友会に入会され「人を生かす経営」実践道場で経営指針を作成されました。指針書には職人である社長さんの『想い』を込め、形にすることで徐々に社員さんに浸透しはじめ、「ありがとう」の言葉で自分が変わり職場が変わっていったそうです。社員と共に育ちあう事で「お客様にとって魅力あるお店」「社員にとって最高の職場に」の実現をこれからも目指していくと言われてました。経営指針書をまだ作成していない私にとって、非常に参考になる(夫婦関係も含め)事ばかりで、改めて経営指針書の大事さを知りました。また、同友会が無ければ今の自

分たちは無いと力強く言われてました。

2日目は九州初の元女性町長であられました中嶋玲子さんのご講演を拝聴させていただきました。初めはユーモアを交えながらの自己紹介から始まり、段々と熱をおびてきた中嶋さんは農家に嫁ぎ町議になり、そこから町長になる中で身を以て体験された男女格差を話されました。一番熱が入った町長時代に受けた221日間の不当拘留の話になりますと、会場中が一気に引き込まれました。理不尽な扱いを受けながらも決して屈することのない生き様には、多くの方が涙を流されていました。大きく変化する時代の中で、女性も男性も、一人一人の能力を十分に発揮できる環境を創っていくことが重要であると感じました。

2日間で私は、たくさんの学びとたくさんの勇気をいただきました。本当に参加できて良かったです。この女性経営者全国交流会は、男性の経営者にこそ聞いていただきたい内容ばかりでした。最後に、関係されました全ての同友会の方々に感謝申し上げます。



長崎支部 慶祝例会報告

日 時	6月18日(水) 午後6時
会 場	サンプリエール
テ ー マ	「同友会と私。」
報 告 者	(有) 昭和防災 取締役 西山 展司 会員 (株) 黒岩商事 代表取締役 大崎 悠史 会員
慶 祝 対 象 者 (敬称略)	浦上地区会 ●古希 富永 英則 ●還暦 永田 勝美、西山 展司 ●厄入 北川 亮、岩尾 一宏、 飛田 精一 出島地区会 ●卒寿 島田 清三郎 ●古希 瀧川 隆 ●還暦 大崎 悠史、中嶋 美暢、 吉田 一 ●厄入 本村 崇、中村 真一郎



長崎市内の方には当り前の事でも他県から越してきた私には特別な事の一つに長崎の独特な厄祝いがあります。

一般的に正月や節分の時期に早めに厄祝いをすませますが、長崎では6月の小屋入りという「長崎くんち」の最初の神事にあやかり厄祝いをします。そして厄入り者は24時を過ぎるまで帰してはいけないという風習や周囲の人で費用を持つというのも長崎に来て初めて知った事でした。(私の育った愛知では厄入り者が全ての費用を負担し散財する事で厄を祓います)

今回の長崎支部慶祝例会では16時より伊勢宮にて慶祝対象者と事務局を含めた有志の参加で清祓いを行ってから会場のサンプリエールに移動しました。

例会では出島地区会会員の飯田昭男さんが経営するプリンセスネット(株)制作編集のDVDが上映され慶祝対象者となる方々が登壇され紹介、記念品贈呈、挨拶をされました。

浦上地区会と出島地区会から代表して還暦を迎えられる西山さんと大崎さんに各10分と短い時間でしたが「同友会と私」というテーマにて報告をいただきました。その後、同会場にて祝賀会の乾杯となりピアノの生演奏や出島地区会の佐々田さんによるマジックショーなど和やかな時間を過ごし最後は副支部長を務める池田浦上地区会長と中村出島地区会長による支部交流宣言にて今期の経営フォーラム成功が宣言されました。



祝賀会解散後も各会員の経営する飲食店に2次会、3次会と回り24時を過ぎまで厄入り者を連れて歩く姿が夜の街にあり、通常例会の懇親会よりもいっそう会員の絆と交流が深まった慶祝例会でした。

(文責 山口 憲男)

投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約500字

●画像/歓迎します

☐掲載/情報広報委員会にて選考

☐投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

☐メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



大村・諫早・島原3支部合同例会報告

日 時	6月19日(木) 午後7時
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	「なぜ指針や理念が必要か？」
報 告 者	キューハイテック(株) 代表取締役 日高 美治 氏(福岡同友会)

大村支部 橋口 仁

大村支部6月例会は、大村・諫早・島原3支部合同例会として多数の参加者の中、諫早市で開催されました。今回は福岡同友会よりキューハイテック株式会社代表取締役日高美治さんにお越しいただき、報告をしていただきました。

日高さんは、29歳の時にお父様が経営されていた現在の会社の後継者としてそれまで勤務していた上場企業の製薬会社を退職されて入社、30歳で社長へ就任されました。

時には社員と殴り合いの喧嘩をし、10年近く思うように業績を伸ばすことができず常に不安を感じていたそうです。同友会には入社後しばらくして入会され、その当時のご自分のことを父は偉大で自分はダメ、最初から守るべきものがあってそれを失うことを恐れて後継者コンプレックスの塊だったとお話しされましたが、日高さんのそれまでの悩み苦しみを救ってくれた

のも同友会だったそうです。

40歳の時に中期経営計画書をテーマとした勉強会に参加し、そこで真剣に経営の勉強をし、人材育成に励もうと決意されました。当初はそれまでの方針に対しての新しい試みに反発する社員さんもおられ、理解してくれる社員さんの中にはいましたが決してうまくはいきませんでした。しかし、当初の人を変えようという考えから、自分が変わると人も変わるという考えに変わり、徹底的に経営を学ぶこと、健全な価値観を持つこと、それから経営指針を作り、そして人材育成に力を入れていったことで社員が共感してくれるようになり、社員の言葉の理解度がアップし、そこから業績も回復していったのでした。

最後にまとめとして、未来(夢・ビジョン)に目をむけること、経営指針書を作成すること、指針書の中身を語ること、そして愛を込めて人材育成をやることの4点をお話しされました。

私はまだ経営者の立場ではなく、自身の会社に経営指針もありません。しかし、これから将来の会社のことを考えていくと今回の日高さんのお話は非常に興味深いものでした。将来に向けて夢やビジョンを持って社員全員で対話しながら経営指針を作り、社員が働いてよかったと思ってもらえる会社にしていきたいと思いました。

例会終了後は、3支部合同での懇親会で他支部の方とも交流ができ有意義な会となりました。

諫早支部 張本 洋二

3支部合同例会は、大村・島原・諫早の会員有志の活気あふれる会場にご登壇いただいたのは、福岡同友会会員 日高美治さん。給排水設備・ガス管工事を展開されています。

報告冒頭からハイタッチして握手するというイエーイ・ハイタッチパフォーマンスで会場内は賑やかに。そして先代の交通事故死により、債務超過の会社を突然継承することになったこと。継承当初は業績があがらず、資金繰りに追われ、社風も悪く、将来への不安と恐れとの葛藤。そこで同友会に入会。自分を変える一言と出会う。

『夢(ビジョン)を持たない経営者に社員はついてくるといいますか?』この一言で人を変える前にまず自分だと気づき、社員からの反発抵抗もありながら、未来(夢・ビジョン)に目を向け、経営指針書を作成し、その中身を熱く語り、愛を込めて人材育成を行い、顧客満足思考を推進したところ業績も上がり社長として認められるようになった。経営指針書を作成することは、社長・後継者の未来を読む力、仮説構築能力、ビ



ジョン構築能力を養うためであり、社長の思いに道筋を立てるためのものであると。

報告中は、ピンマイクを付け、終始会場内を歩きながら、やさしく落ち着いた口調で、これからも笑顔で溢れる会社、ありがとう経営を目指すと思熱く語っていただきました。

その後の懇親交流会において諫早支部 インクス 代表者 井原清貴さんへ入会バッジの贈呈と、ゲストとして参加の(有)溝上電機工事 専務取締役 溝上優作さんの入会決意表明がなされ、山田仲間づくり委員長の笑顔がとても良かったです。楽しくて充実した合同例会をありがとうございました。

6月は大村・諫早・島原の三支部合同例会といたしまして、福岡同友会より日高さんをお招きし、『なぜ指針や理念が必要か』をご自身の体験を基に報告していただきました。

今回は恒例の握手タイムを省略し、キューハイテック社の社内挨拶に倣い会場の会員と「ハイタッチ」をしながら『イエーイ！よろしくお願いします！』と強く握手を交わす事から始まりました。

初対面の方が多い合同例会、恥ずかしく思いながらも実践してみると自然と笑顔になって緊張もほぐれ、強く印象に残った幕開けでした。

報告者の日高さんは、大卒後某製薬会社に就職、実家の経営危機を知り事業継承を決意するも創業者の父が事故で他界。葬儀翌日から借金返済の圧力が強まる中で、慣れないガス配管工事事業に身を投じるなど大変な覚悟を背負った方なのだと感じました。しかし一所懸命に働けど業績は上がらない、資金繰りに追われ続ける、社風も一向に良くならない日々。絶え間ない不安や恐れの中、中期経営計画書がテーマの勉強会に参加して講師に一言。

「苦しい経営環境の中で明日さえ見えのに3年先や5年先の未来の事なんか解るか！」

「たとえ目標を描いても、実現しない計画書なんて書く必要があるのか！」と問うと当時の講師が『夢やビジョンを持ってない経営者にあなたの社員はついて来ると思いませんか？』

その言葉に感銘を受けて徹底的に経営を学ぶ決意をされたとの事でした。私達参加者の雰囲気も日高さんの

問いには『そうそう、うんうん』と共感の渦が広がっていった時に出た『ビジョンを持ってない経営者には誰もついて来ないよ』この言葉には会場中が衝撃を受けました。しかし、経営指針書を導入したけれど弊害も大きかったそうです。導入当初は社員からの反発もあったものの、『自分が変われば人も変わる！』と強く信じて、抵抗されても人材育成・健全な価値観での経営計画書作りを繰り返した。繰り返す事により共感する社員が増え言葉の理解度が高くなっていったそうです。

もう一つ感動した事があります。「現場の職人は目の前にある仕事に集中するあまり、その裏にある本当のお客様の存在を忘れてしまう傾向がある」との言葉です。私自身も技術職人です。良いモノを作り、維持・継続させる事ばかりに気を取られ、お客様への想いを忘れがちになっている自分に気付かされました。少子高齢化が避けられない以上、過去客・現在客だけでは現状維持すら難しい。『難しい時代だからこそ新しい事へチャレンジし続ける事が未来客の創造に繋がるんだ』と熱心におっしゃっているのを見て、日高さんは本当に本気な方だなと伝わってきました。

報告後は、恒例の懇親交流会。各支部の皆さんが半年振りの交流に花を咲かせつつも、「今日の報告は聞きにきて良かったバイ」「やっぱり指針書はちゃんと作らねばね」などの声が多数飛び交っているのを見て、今年の合同例会は例年に増して盛り上がりただけで無く、得るものが大きく、やる気に繋がる充実した例会となりました。

佐世保支部 例会報告

日 時	6月20日(金) 午後6時30分
会 場	佐世保市民会館 会議室
テ ー マ	「自然食にこだわり、経営に悩み・・・」
報 告 者	ティア マリナホリディ 代表 佐藤 昌宏 会員

今回は、入会10ヶ月目のティア マリナホリディの佐藤昌宏さんに報告をしていただきました。最近の支部例会は参加者が少なくなってきました。そこで支部役員会では、各委員長・副委員長から電話連絡にて出欠の有無を確認しました。多くの会員とオブザーバーに呼びかけをした結果、通常の約2倍の参加者により開催が出来ました。佐藤さんも参加者の多さに一段と力が入った報告をされました。

報告を聞いて感じた事は、食に対する熱い想いでし



た。無農薬、有機野菜にこだわり、生産者と消費者を繋ぎ、安全な食材を使って消費者に提供する。報告の中で『毎日、店に来ていただくお客様を決して裏切る経営は出来ない』と言い切られました。悩みの部分は、利益がなかなか出ない。社員さんに還元をしたいが……。社員のモチベーションを上げたいがどうしたら……。等が伝わってきました。

報告が終わりグループディスカッションでは、『あなたはスタッフのモチベーションアップの為に何をしていますか？』のテーマで多くの意見が出て来ました。

社員を一人の人間として人格を認めて接する。長所を引き出し誉めてやる。社長が社員に夢を語る。社員に対する思いやり。社員のアイディアを取り上げてやる気を引き出す。利益を還元する。等の意見が出されました。

グループ発表では、いい食材を使用されているから、もっと料金を上げていいのではないかと。ぜひ佐藤さんの店を利用したい。等の応援する意見も多く、多くの会員から聞く事が出来ました。

最後に報告していただきました佐藤昌宏さん、ありがとうございました。これからも食にこだわり、お客様にいい料理を提供してください。きっと、お客様がお客様を誘って来られる店になると思います。そして社員を可愛がり素晴らしいティア マリナホリディを

造り上げてください。

(文責 江口 陽一)



北松浦支部 例会報告

日 時	6月26日(金) 午後7時
会 場	松浦商工会議所
テ ー マ	「お金が残る会社のヒミツ」
報 告 者	(株)F&M 中小企業コンサルティング事業本部 原賀 祐磨 氏



F&M の報告は今回で3回目になります。昨年の5月に「労使間問題と就業規則」に始まり、9月は「経営者は誰でもが悩む労使間問題」そして今回「強い会社をつくる」為に、お金に関するテーマで報告をいただきました。

まず、池野支部長の冒頭の挨拶の中に、私達の地域の人口減少に伴う経済損失の話があり、経営者の意識改革について身につまされる思いで臨んだ報告となりました。

①公的助成金の活用について

助成金の原資は、私達が払っている雇用保険の会社負担分から拠出されており、厚生労働省の実行助成金は年2,370億円、受けた会社の平均で45万4,000円となっているそうです。また、納めた保険料は、例えば20人の会社で平均年収300万とした場合20年で420万もの雇用保険料を会社が負担しており、当然何がしかの助成金を申請するべきであるとの説明でした。本年度は「職場意識改善助成金」が設けられており、有給日数の追加や残

業時間の短縮等の改善を申請すると100%受けられるそうです。

②財務体質の改善について

金融機関の中小企業向け貸出残高は年々減少しており、さらに「金融円滑化法の終了」や「セーフティネット5号制度の大幅縮小」、引当率や債務者区分の遵守等金融機関の貸出リスクが増大しています。つまり、今まで以上に融資が難しくなると言う事です。ではどのような手を打つべきか？自社の格付を確認し早急に財務改善に取り組む必要があります。格付けの決定要因(決算書の評価・財務評価・定性情報評価)を改善する事、特に定性情報評価です。定性情報評価とは、経理組織が明確か？社長の計数感覚が確かか？社長の年齢や健康度？社長の女性関係？電話対応？幹部社員の退社？等があり、特に大切なのは「経営計画書」が作成されているか？だそうです。まさに同友会が実践している事です。融資したくない会社とは、例えば、電話の対応では会社名を名乗らないは一発アウト、社員が挨拶しない、玄関が汚いこれも同様です。また、傘がたたまれていない等も会社を判断する基準にしているそうです。また、格付上、直近3期の当期利益合計が赤字だとマイナス評価になりますので特に注意してくださいとの事です。

次に、所得税改正や相続税改正に伴う役員報酬の見直しを考える必要があるそうです。詳しくは税理士さんにお尋ねください。さらに、生命保険を活用して節税を考える事も大切です。

以上、会社にお金が残るためには、経常収支を把握する(返済余力を計算)。役員報酬と法人税のバランスを考える。税務と財務の違いを理解する。

③労務上のリスク管理について

労使間トラブルが5年連続で百万件を超えており、特に50名未満の会社が50%を占めている。対策と

しては、自社の方針にあった「会社を守る就業規則」を作成する必要があるそうです。また、入口と出口が大切、つまり入社時の取り交わす書類、雇用契約書（双方の署名捺印）・身元保証書・誓約書、退社時は退職届・解雇予告通知書・機密保持等の誓約書など書面で残す事が大事です。

以上100分に及ぶ報告でした。内容が大変広範囲でありましたが、わかり易く説明いただきました。早速自社の経営の改善に役立てたいと思います。

（文責 富川 栄治）



五島支部 例会報告

日 時	6月17日(木) 午後6時30分
会 場	福江文化会館 3F 展示室
テ ー マ	「五島を客観的に学ぶ」
報 告 者	五島市地域おこし協力隊3名 安齊 反彦 氏、廣瀬 愛 氏、 東 奈津子 氏



今回は通常の例会と違い、五島市が県外から募集して、五島市内各地に配属されている、五島市地域おこし協力隊の3名の方においでいただき、「五島を客観的に学ぶ」と言うテーマで、パネルディスカッション方式で行いました。県外の方々からの視点を通して、現在の五島がどのような状況であるのか、良い点、または改善しないといけない点など、忌憚のないご意見をいただき、会員それぞれの業種、職種で何かヒントになることがあるはずということで今回の例会は企画されました。まずは事前アンケートを行い、それぞれの質問に答えていただいております、各質問において3名の方のご意見や実体験等で感想や、新しい取組の提案等をいただきました。その後、ご意見に対してのグループ協議が行われメンバー自身の職種等から思っていることなど様々なお話が聞けました。いろいろなご意見、考えを聞いて私が感じたことは、五島の人たち

は自分たちの普通が県外の方々から見ると普通でないことを再認識して、五島人が持つ、あたたかさや世話好きを活かせるよう接客を学び、島にしては珍しい山も海も里も水も豊かであることを、県外の島好きやシルバー世代にアピールして移住者が増えるようハード面、ソフト面を充実しなければならないのではないかとということでした。同友会のメンバーにも観光業や製造業、住宅関係の職種の方もいますので、何かしらのヒントにはなったのではないのでしょうか。

今後とも、発足したての五島支部として報告形式を基本としながらも、様々な例会にチャレンジしていきたいと思います。

（文責 勝本 政裕）



青年経営者会 例会報告

日 時	6月24日(火) 午後6時30分
会 場	吉里吉里屋
内 容	「慶祝例会」



6月は今年厄入りを迎えられます北川亮会員と飛田精一会員を囲んでの慶祝例会を行いました。まず会長山口が代表してお祝いの挨拶を述べさせていただき、山口憲男会員に準備していただいた「厄を切る」という意味合いを込めた名前入りのペーパーナイフが記念品としてお二人に贈られました。お二人の挨拶の後、西村浩文会員の乾杯のご発声で祝宴が始り、楽しい宴の途中には特別に用意していただいた大きな鯛の塩釜

焼きがお二人の前に運ばれ「いっせーの」の掛け声とともに木槌で割り、皆で美味しく頂きました。恒例として厄入り対象の方たちをその日のうちに帰してはいけないということで、十二時を過ぎてからお見送りをして無事閉会となりました。

今期お二人は青年経営者会の役員や経営フォーラムの部会長など、40歳という公私ともに忙しい年齢でありながらも、沢山の役を引き受けられており益々の活躍が期待されます。くれぐれも体調管理などお体には十分配慮され公私ともに充実した一年になります様お祈りしております。

(文責 山口 善也)



佐世保支部 企業訪問



(有) 西海物産館 小松屋さんのお招きに預かり、お取引企業様との懇親会兼新規事業の発表会に佐世保支部から4名参加しました。

今回新たな事業としてミニカー1500台の展示と、中国から直接買い付けた絵画や刺繍の展示、他にもブライダルの取り組みや、新しい料理のプラン等が発表されました。どの事業も、「お客様に満足していただきたい」という強い思いが感じられました。西海橋にお越しの際は、是非お立ち寄りください。



発表会後の懇親会ではマグロの解体ショーが行われ、船津さんの華麗な手さばきを見ることができました。そしてトリは勿論、小松屋さんのギタープレイ！プロ並みの腕前でいつ聴いてもカッコイイ！

様々なエネルギーをいただいた発表会でした。

(文責 山崎 秀平)

委員会活動一覧 (6月1日～6月30日)

6月2日(月)

＜仲間づくり委員会＞ 参加者：5名

・内容

増強ウィークについての協議。

女性部会設立応援の意見交換。

6月21日(土)

＜政策委員会＞ 参加者：5名

・内容

7月23日の大勉強会についての協議。

6月23日(月)

＜経営・労務担当委員会＞ 参加者：13名

・内容

第4次ビジョンに対する取組み、理念づくりの大村支部スタイルの理解を深めるため、情報の共有。

6月23日(月)

＜情報広報委員会＞ 参加者：5名

・内容

広報誌編集会議。

ホームページリニューアルの進捗状況確認。

e-doyu 利用マニュアルについての協議。

同友会のロゴマーク利用についての協議。

6月30日(月)

＜共有委員会＞ 参加者：3名

・内容

労見見解の読合せ。

田山謙堂氏の講話DVD聴講。



会員活躍

長崎新聞

6月24日

長崎支部 浦上地区会

谷川 喜一 会員

靴、バッグをリフレッシュ

井原 清貴さん(46)
「長崎千歳」
ティーズ工房長崎千歳店 代表

今年8月にオープン4周年を迎えます。靴、バッグのクリーニングと修理を自社で一括してできる県内でも数少ない店です。お気軽に



入りのものや、しまい込んで、かけては湿気が多く、靴のクリーニングと修理はもうろく、あせた色を補ったり、別の色に変えたりもできます。合計5千円以上で集配もOK。物を大切に長く使うことはエコに繋がります。営業は午前10時から午後7時。不定休。電話095・845・0200。

長崎新聞

6月11日

長崎支部 浦上地区会

岩永 経世 会員

税理士法人や中小企業の経営支援を手掛ける企業群を率いる。今月、経営支援を事業とする全国組織「日本BIGネットワーク(Ja-BIG)」のトップに就いた。30代半ばで税理士として独立した当初から、税務申告に関する業務だけでなく、企業の経営支援にビジネスチャンスを見だし、取り組んできた。税理士らがつくる複数の自主勉強会に

IG会計グループ代表

岩永 経世さん(65)

Biz
ト7



経営支援のインフラに

所属する中、連携を呼び掛け、2000年に「NN(ネットワーク)のネットワーク化」構想の会を設立。今回のJa-BIG G設立にも奔走した。「会計事務所による中小企業の経営支援はこれまで手付かずだった。中小企業を支えるインフラになりたい」と意気込む。(村田傑人)

IG会計グループ アイジータックス税理士法人など長崎、兵庫、宮崎各県で展開する九つの法人・企業の総称。グループ全体の従業員は約50人。2013年12月期の売上高は約4億5000万円。

建設業売上高ランキング
県内7社 50億円超

東京商工リサーチ福岡支社は23日、九州・沖縄地区に本社がある建設業で、2013年の売上高が50億円以上の企業のランキングを発表した。前年比4社増の90社がランクインし、本県からは13位になった。谷川建設(長崎市、164億円)がトップに入った。谷川建設(長崎市、164億円)は九電工(福岡市)の傘下企業。同社は他社との共同企業体

本県企業は、(V)西日本建設(長崎市、132億円)、23位▽協和建設(長崎市、98億円)以上。前年82位の梅村組(佐世保市)は過当競争による利益率低下を避けるため無理な受注を控え、ランク外になった。全体では、公共工事や太陽光発電など民間の受注も順調に推移し、消費増税前

「お願いします」と話した。中村知事は「県庁に来るいろんなお客さまに、地元の器でお茶を召し上がってほしい。大切に使いまわす」とお礼を述べた。(田代菜津美)



県産器をPする松尾慶一(左)と中里理事長(右) 県庁

来客用湯のみ 県に430個寄贈
波佐見、三川内両組合 東彼波佐見町の波佐見陶磁器工業協同組合(松尾慶一理事長)と佐世保市の三川内陶磁器工業協同組合(中里智徳理事長)は9日、県庁に中村法道知事を訪ね、庁内の会議などでもっと使ってもらおうと、波佐見焼と三川内焼の湯飲み計約430個を贈った。松尾理事長は「気に入った器でお茶を飲むといい。ただで、会議も楽しくなる。大事に使ってください」と語り、中里理事長は「今後も支援よろしく」

長崎新聞
6月10日
佐世保支部
松尾 慶一 会員

ダイヤモンドクラブ例会 参加報告

ダイヤモンドクラブ 会長 富永 英則



この度、「ダイヤモンドクラブ」の会長を拝命しました長崎支部 浦上地区会の富永と申します。

1988(平成10)年、このクラブが設立された当時のメンバーの皆さんがとても輝いて見えていたことを鮮明

に覚えています。

同友会に入会して約30年、会員の顔ぶれも随分変わりましたが、ダイヤモンドクラブの存在が、旧知の仲間の集まりという大きな役割を果たしているのではないかと感じています。

前会長の島田清三郎さんが私のスポンサーということもあり、副会長に推薦された時は、すべて島田さんにお任せしていれば良いものと思い、快諾したことを思い出しました。

さて、会長として何をしたら良いのかが当面の課題ですが、まず、メンバー全員これまでの経験と知恵を大いに発揮し、同友会に入って良かったという思いを広く伝え、例会開催を年2回にし、同友会理念に則り更なる発展と会員同士のコミュニケーションの絆を強くしていかなければと思っています。

若い方の入会により、ダイヤモンドクラブがより責任ある立場になり続けると確信しています。

長崎同友会発展のために、当クラブがなくてはならない存在として、その役割を果たせる様に副会長の加悦さんと一緒に頑張りたいと思います。

皆様、何卒よろしくお願い致します。

長崎支部 浦上地区会 宮崎 泰幸



6月25日、ダイヤモンドクラブの例会に初めて参加しました。会場はサンプリエールで参加者20名でした。

今回は、島田会長の体調不良の為、新しく富永さんが会長に就任され、副会長は加悦さんが選任されました。司会の品川さんの冗句を交えた楽しい進行で、皆さんの笑顔とトークで盛り上がり、例会とは違った懐かしさと、今まで同友会で培って来た事を思い出す楽しいひと時でした。

私が同友会に入会したのが平成4年の41歳で、現在63歳、当時の代表理事が金子さん、支部長が末次さんでした。22年経った今でも変わらず元気で、また私が例会委員長として理事になった時の、代表理事松田さん、平湯さん、みなさんざらざらと迫力があり、私はまだまだ若造と言う事を実感致しました。

同友会で学んだ22年、私に取って仕事、人間関係、遊びと得るものが多く、決して大きな会社になった訳でもなく、すごく儲かっている会社でもないですが、この22

年は楽しい日々であったと感じています。これは、今回参加している皆さんも同じような気持ちではないかと思いました。私自身仕事面で苦しい時もたくさんありましたが、同友会の例会に参加して、たくさんの勇気を貰い、退会したいとは一度も思いませんでした。

今、長崎同友会は500名を超えて、600名になるのも近いかと思います。代表理事の松尾さんも「長崎で全国大会を開催して1000名の会員にするぞー!」と張り切っています。代表理事がまぶしく!見えました。

同友会の会員になったら、まず役員になろう、そして全国大会に参加しよう、次に報告者になろう、そしてダイヤモンドクラブの会員になって、長崎同友会の発展の為に目立たず、出しゃばらず尽力される事が、良いのかなと思います。

ダイヤモンドクラブ一年生の私ですが、これからも頑張っていきたいと思っております。同友会の良さを日頃感じるのは、若い人、厄年を過ぎた人、還暦周辺の人、そしてダイヤモンドクラブの大先輩が入り混じって各々の意見を言い合う事のすばらしさ、これは他ではなかなかありません。あー良い会ですね!

目標1000名!!とが出来ました。

大村支部 徳田 信義

私は同友会歴26年余になります。昔からダイヤモンドクラブがある事は知っていましたが、私には遠い存在だと思っていました。

先日、松田相談役より同友会歴20年以上だから資格が有るので、ぜひ参加するようにとお誘いを受け、今回初めて参加いたしました。

参加されておられた方々は、昔から同友会で活躍されておられる方々ばかりだったので、最初は近寄りがたかったのですが、会が経過していくうちになごやかな雰囲気になっていき、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

次回も参加したいと思いました。



福岡同友会 合同企業説明会 参加報告

同友会事務局 峰 圭太

5月17日、福岡天神ビルにて福岡同友会主催による合同企業説明会が開催され、見学させていただきました。ブース出展企業数は17社、13時から16時半の開催でした。来場された学生は全部で資料の配布ベースで140名ほど、そのうち回収できた面談票（氏名・大学などを記載した受付票）の数は105名とのことでした。会場は各企業のブースの前にイスが設置され、また就職相談コーナーが別に2枠の設営となっていました。

学生の集客方法としては、①各大学内にポスターを掲示していただく②リクルート関連会社に有料でメール発信を依頼する③出展会員企業が個別に求人サイトで募集という3つの方法をとられています。説明会に参加された学生のうち、数名に話を聴く事ができました。理工系の学生は、今回参加された理由として「地元の中小企業を知ることができるから」と話していました。また、学内でポスターをみて参加したという学生もいました。各企業のブースではパソコンやパンフレットを使用しての説明を行いブースに集まった学生たちは熱心に聞き、メモを取り、質問し、お互いの確認をされていました。

参加企業のうち、共同求人委員会（株）コミプラ：時枝さん、貼りアップ（株）：濱田さんは口をそろえて「共同求人は机の引き出しにしまっている経営指針をまずは表に出すこと。そして共同求人ですべてにより多くの学生に来ていただくためにより自社を魅力的にすること。その後入社いただいた社員に対し新入社員研修を行い、共に育てて行くこと。何より継続することが大事」と話されていました。先輩社員が次のリーダー候補を育て会社の存続や



発展のため、5年後10年後も地域に必要な会社であるために、福岡同友会では年2回の合同企業説明会を開催、その後合同新入社員研修や入社3年目のフォローアップ、幹部研修など先を見据えた活動を実践されています。同友会の三位一体である「経営指針・共同求人・社員共育」が3つの要素がリンクし実践されている状況です。「共同求人から社員共育の実践は、会員だけが“したい”、事務局だけが“したい”ではなく、会員と事務局が互いに歩み寄り知恵を出す事で可能になる」これは（株）まきもと 向日葵グループ：牧本さんのお話です。

最初から全てが上手くいくことはありません。思いを具現化し行動する事で成功や失敗が経験となり、知恵が出ると思います。同友会は企業づくり。人を生かす経営の実践で会員企業が益々反映し地域に必要な企業であるために、再度事務局としてどのような情報を得、発信しなければならないのか深く考えさせられました。今後委員会や理事の皆様と情報交換をしながらまずは一歩、踏み出すことができればと思います。

事務局 企業訪問

同友会事務局 峰 圭太



苦労は絶えず、でもその苦労があったからこそ、今笑える。五島支部、（有）もり塗装工業 代表取締役森勝昭さんにお話を伺ったあと、私はそう思いました。

知り合いの保証かぶりにあい、「明日の飯も食えない」状況の中、これまで書籍や

車の営業経験しかなかった森さんは全く畑違いの塗装会社を起業されました。1976年のことです。「友達の塗装屋の景気が良かったから」という理由。先輩や同業者からは当然のようにうまくいかないと思われたそうです。森さんは、アルバイト経験はあったものの塗装に関しては素人。本を読み独学で学び、必死になって営業から



実際の作業まで何でもこなされました。周囲からばかにされても、体を動かし続けたそうです。今のように機材や設備もままならない中、2階建ての建物に関しても一人で足場を組み、ふきつけ作業まで終える、その仕事に対する誠実さが認められてきた結果、創業から4年後、五

島において塗装部門売上 NO 1 の実績につながります。徐々に大きな建設会社との仕事も増え、大きな仕事にも携わるようになり、社員や資材も増え順調かと思った時、予期せぬ事態が続きます。

建設会社との仕事が続く中、数年にわたって合計4度の不渡りにあいます。毎年の年末には社員に餅代として渡していた寸志も出せない。手形を買い戻すこともできない。それでもなんとかお金を工面し乗り切ってきました。しかし、そんな中一番の理解者、最愛の奥様をご病気で亡くされてしまいます。当時まだお子様は中学生と小学生。お客様は待っているのです仕事はつづけなければならない。父と母、現場と社長業のすべてをその両肩に背負いながらも休むことなく前へ一歩ずつ歩みを進めてくれました。

「この仕事は天職だ」と語る森さん。自分の頑張りや体を動かした分だけダイレクトに返ってくる。物の販売ではなく、技術の販売ということで今までの経験や知識に絶対的な自信を持つ1人の経営者の顔がありました。人口が減っていく五島。このままではいけないと次世代の

若者に対して「社会に対して責任を持ってほしい。まずは自分が頑張ろうという気持ちをもってもらいたい」とメッセージを送ります。

(有) もり塗装工業は今年1つの転機を迎えることになるでしょう。8月中旬に新しい事務所に引っ越す予定です。そこには森さんを含めて7名のスタッフがいます。当然、その中に息子さんである後継者、正明さんがいます。奥様を亡くされたその年度末、森さんはある夜間の現場が入っていました。1人で重たいコンプレッサーを上まで運ばなければならない厳しい現場でした。その時、小学生だった正明さんが自ら手伝うと言われたそうです。その現場でのテキパキとした行動に森さんは「その時息子は将来この会社を継ぐと決めていたのではないか」と感じたそうです。その正明さんを中心に、また正明さんを支える奥様も共に、社員一丸となって五島の街を元気にしていけると思います。

「新しい事務所には、玄関に大きく経営理念を飾りたい」そう最後に話された森さんの顔には、この日一番の笑顔がありました。

中同協 第4回幹事会 参加報告

同友会事務局 峰 圭太

6月3日(火) 13:00～

第3回目を迎える憲章・条例推進月間キックオフ集会(衆議院会館)に参加させていただきました。全国から140名以上を超える参加者があり、各地事務局員は立ち見をするほどでした。まずは北川中小企業庁長官から事例報告をいただき、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、全国商工会連合会、全国商店街振興組合連合会のそれぞれ個別に事例報告を、福岡同友会(中道協副会長)中村さん、北海道同友会代表理事守さん、岩手同友会代表理事田村さんからそれぞれ個人保証、条例の活用、東日本大震災復興とエネルギーシフトに関する報告をいただきました。その後第2部では経済産業委員会の委員を中心とした合計25人もの国会議員の方にご参加いただき、ご挨拶と今後の条例に関する力強い意気込みのお言葉をいただきました。

その後場所を変えてキックオフ集会総括会議が開催。議員とのつながりや、中小企業憲章国会決議に向けた今後の流れ等確認しました。

夜には「伝説の経営者シリーズ」として中道協顧問の田山さん講演会を拝聴しました。田山さんは「労使見解」を作成された方のお1人で労使見解を打ち立てた当時の話を生で聞くと当時の苦労やいきさつが目につかび非常に勉強になりました。田山さんのお話に関しては「変革と継承」という書籍が中同協より発刊されていますのでぜひ会員の皆様にはご一読いただきたいと思います。

6月4日(水) 9:30～東京同友会会議室。

九州沖縄ブロック代表者会議開催。各県の定時総会報告、宮古島の九州・沖縄ブロック支部長・支部活動研修交流会報告、憲章・条例推進月間の取組み等報告等意見交換がなされました。また消費増税アンケートに関

しては6月9日に全国の集計結果が中同協より事務局へ配信。その結果に基づき、地方紙用に加筆するなどして10日に一斉プレスリリースを行うことを確認しました。

法人税減税の代替案として話があがっている外形標準課税適用拡大に関しては、ブロックで連動または他団体とも連動し署名や記者会見等も必要ではないかという声もあり当日午後からの幹事会での議論を待つことになりました。またその他の議題・意見交換として日本創生会議発表の消滅都市についての議論やまた福岡同友会中山代表からは事務局の人材育成、労働環境整備に力を入れて行くとの報告がありました。

13:00～アルカディア市ヶ谷、第4回幹事会

新潟定時総会の目的と分科会の内容をはじめとした各報告や議題がある中、今後の全国大会の決議も行われ、2019年長崎での全研開催が承認されました。手汗が尋常ではありませんでした。外形標準課税適用拡大に関する議論では中同協鋤柄会長談話に関して様々な意見が出されより具体的なタイトルでプレスリリースすることが承認され同日中同協はマスコミ発表を行ったとのことでした(長崎同友会も6月10日にプレスリリース済み)

グループディスカッションでは憲章、条例に関する問題提起があり、討論を行いました。各県の事例では協力的な地域(市・県)、そうでない県など地域によって差があることを痛感しました。最終的には、外形標準課税、憲章、条例等会員が「難しい、わからない」と避けてはいけいない、まずは自分のこととして捉え、学ぶことが大切だということが確認されました。広浜幹事長による全体のまとめとして、国会議員が25人参加したことから同友会の立ち位置の変化を感じたこと。3つのまとめとして、①大変だから助けてくれ、ではない。憲章や条例はできたからなんとかするのはなく、あくまでも自主独立の精神で自助努力が必要。他人頼りではないのでうしろめた

い運動ではないことを確認。

②そのためにも同友会3つの目的の総合実践が大切。施策の勉強を行い、条例を活用することをゴールに見据えて活動を行う事が大切。

③ということは期待に応えていかなければならない。役所に行き会勢何名?と必ず聞かれる。そのためにも同じ意思を持つ仲間を増やし地域に責任を持てる存在にならなくてはいけない。という言葉で締めくくられました。

幹事会に参加させていただき毎回思うことは、同友会活動の根底は「企業づくり、地域づくり」ということです。何のための同友会なのか、ということ深く考えさせられると同時に、事務局機能、事務局員として何の情報を集め発信し、地域に生かすかという自問が生まれます。その答えをひとつひとつ紐解くことができる知識と教養、人間の幅を、今後は磨いていきたいと思います。機会をいただきありがとうございました。

新入会員の皆さんです＜7月入会・交代＞（敬称略）

＜入 会＞

支 部 名	長崎支部 出島地区会			
氏 名	しろやま りえ 城山 理恵			
企 業 名	Aeqelle(えいじえる)長崎北店			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒852-8135 長崎市千歳町 15-6 岩崎ビル 202 号			
T E L	095-807-5036		F A X	095-807-5036
業 種	エステサロン			
企 業 P R	フェイシャル専門のエステサロンです。 年齢を重ねる事が楽しいと思って頂ける様にお手入れを提案 します。アンチエイジング、若返り、自分磨きなど…お客様 の心に寄り添えるサロンを目指していきます。			
スポンサー	西山 展司			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	たけみや ゆうし 武宮 雄志			
企 業 名	司法書士 武宮事務所			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒 857-2326 西海市大瀬戸町雪浦下郷 1216 番地			
T E L	0959-22-0040	F A X	0959-22-0020	
業 種	司法書士事務所			
企 業 P R	地域密着、社会福祉貢献をモットーに「登記、裁判、相続、成年後見」のサービスを提供しております。今の問題から将来の不安までご相談を承っております。			
スポンサー	千北 豊明			

支 部 名	諫早支部			
氏 名	みぞがみ ゆうさく 溝上 優作			
企 業 名	(有)溝上電機工事			
役 職 名	専務取締役			
企 業 住 所	〒854-1123 諫早市飯盛町里 145-7			
T E L	0957-49-1345	F A X	0957-49-1281	
業 種	電気設備工事業、機械器具設置業			
企 業 P R	一般住宅から工場・プラント設備など幅広く電気設備の工事を行なっています。 社員一同お客様の為にがんばります。			
スポンサー	張本 洋二			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	もり かずま 森 一馬			
企 業 名	(株)ハスポ			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒859-3701 東彼杵郡波佐見町折敷瀬郷 2173-2			
T E L	0956-56-3625	F A X	0956-56-3628	
業 種	スポーツ用品販売			
企 業 P R	学校、官公庁を中心にスポーツ用品の販売をしています。 提案とスピードを社のモットーにしており、お客様第一主義 でがんばっています。			
スポンサー	松尾 慶一			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	かわそえ たかし 川添 隆			
企 業 名	川添鮮魚店			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒 857-0813 佐世保市小佐世保町 11-30			
T E L	0956-25-8398		F A X	0956-25-8399
業 種	鮮魚小売			
企 業 P R	長崎県産、ならびに国産の旬の魚、水産加工品（真空冷凍）を販売しています。 三枚おろしにして骨抜きにしたもの、背開きにして真空したものなどです。			
スポンサー	永末 勝宏			

＜交 代＞

支 部 名	諫早支部			
氏 名	ながえ よしくに 永江 嘉國			
企 業 名	(株)昭和堂			
役 職 名	社長室			
企 業 住 所	〒 854-0036 諫早市長野町 1007-2			
T E L	0957-22-6000	F A X	0956-22-6690	
業 種	印刷業			
企 業 P R	マーケティングから企画デザイン、特殊印刷まで様々な事業 領域で皆様のビジネスをお手伝い致します。			

8 月例会案内

●長崎支部 浦上地区会

日 時 8月26日(火) 午後6時30分
会 場 ギャラリーヘキサ
テ — マ 「人生の大海原。失敗も成功もまた楽し。
笑顔で感謝の気持ちが福を呼ぶ」
報 告 者 スギセイフーズ(有) 代表取締役
杉本 誠二郎 会員(諫早支部)

長崎市生まれ。幼少期は浦上育ち。フォークソング狂いのコンサート時代と初起業。そして失敗。あつという間の時の流れ「必ずチャンスは毎日あった」と後で気づく。調味料業界20年間のサラリーマン時代を経て社長職への誘いを断わり起業。平成17年、お客様だった会社と中国へ進出。そしてまた失敗。両眼にはいつも¥マーク。帰国してお客様から一喝助言頂き奮起。感謝の気持ちがわかり始めてやっと¥マークから普通の笑顔に変わる。そこにまた突如、救世主のごとく現れた長崎同友会。おかげさまで、今では笑顔いっぱいです。

●長崎支部 出島地区会

日 時 8月28日(木) 午後6時30分
会 場 メルカつきまち 5階ホール
テ — マ 会社経営いろはのい「経営理念」
報 告 者 (有) プライアント保険 専務取締役
橋口 久 会員(佐世保支部)

特定非営利活動法人 ふるさと長崎の豊福 和明会員と対話形式で橋口会員の同友会との関わり、経営指針作成と会社経営などのエッセンスをお話いただきます。

●大村支部

日 時 8月21日(木) 午後6時30分
会 場 夢ファーム シュシュ
内 容 納涼家族交流例会「同友会の絆」

●諫早支部

日 時 8月23日(土) 午後6時
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
内 容 支部設立20周年記念祝賀会
講 師 (株) 岩崎商事 代表取締役
岩崎 誠一 会員(長崎支部 出島地区会)

●島原支部

日 時 8月21日(木) 午後7時
会 場 HOTEL シーサイド島原
テ — マ 島原支部 若手経営者報告 第3弾!!
経営体験報告『支援塾による人材教育活動』
報 告 者 (株) 雲仙湯けむりファーム 代表取締役
楠田 喜隆 会員

祖父から続く「きのこ屋の三代目」として育ちながらも、これからの企業には営業力の必要性を感じて、都会で営業の修行をするが、実家から帰ってこいと呼ばれて帰省。すぐに湯けむりファームを立ち上げて、後継者として「きのこ栽培」の勉強の傍ら、経営者としても参加する様々な勉強会の中で、『上司は命令を出す管理者ではなく、部下を支えるサポーター(支援者)だ!』と気づき、その為には上司自身のスキルアップが必要と感じて社内研修制度を発足する。『支援』をテーマにベテラン社員、若手社員、女性部会、5Sチームの4グループがそれぞれ社風を良くする目的で日々取り組んでいます。報告者自身も学びとなった人材教育の活動内容を体験報告していただきます。

●佐世保支部

日 時 8月22日(金) 午後6時
会 場 九十九島観光ホテル
内 容 同友会を知る納涼例会
報 告 者 スタジオドリームエンジェル 代表者
金田 昭子 会員(長崎支部 浦上地区会)

社長夫人として、華やかな時を過ごした20代。
会社経営の厳しさに直面し、必死で働き支えた30代。
絶望の中で、もがき苦しんだ40代。
そして今、“個人事業主から会社社長への挑戦”。
大切な人たちのために…
ここから新たな私の人生が始まります!

●北松浦支部

日 時 8月30日(土) 午後7時
会 場 酒の一斗 星鹿研修所
内 容 納涼家族例会

暑かった夏も終わりを迎える8月末に納涼家族例会を開催いたします。
普段の例会とは雰囲気を変えて、美味しいお酒と楽しい会話で同友会の良さを再確認すると共に会員家族にも同友会を知ってもらえる機会です。
会費 男性¥4,000 女性¥3,000 子供(15歳以上)¥2,000

●五島支部

日 時 8月9日(土) 午後7時
会 場 椿茶屋
内 容 会員親睦納涼例会

会員の家族、社員を招き会員相互の親睦を図る。
懇親例会の中で会員アピールタイムを設ける。
楽しいゲームの開催。
子供たちへ花火(予定)プレゼントなど。

●青年経営者会

日 時 8月30日(土)
会 場 オーシャンパレス ホテル & リゾート
内 容 8月サマリーイベント

夏休みの最後の思い出に家族交流を図ります。



新商品

長崎さるくマツ

ダスキン栄進

TEL 823-7633

瀧川 隆 会員(長崎支部 出島地区会)

7月理事会 議事録 抜粋

7月3日(木) 19:00 つくば倶楽部
出席 23名 欠席 1名

【情報広報委員長】

同友会のロゴマーク利用について

●委員会見解

会員の同友会活動において、ロゴマークの利用は規約に従って認めるが、ロゴや字体には統一したものを使っていたきたい。事務局にて提供の用意をするのでこれを利用する。また、会内外に発信するもの（例会関連・事務局発行のものを除く）に対しては、製作前に事務局に一報入れる事。

●個人情報保護について

ホームページのリニューアルに伴い、例会参加時の写真など、個人情報を一般公開する機会が増えます。例会当日は、会員だけでなくオブザーバーも多数参加されるので、当日または申込の際、「当例会で撮影した写真やビデオなど同友会の広報活動に利用する場合があります。さし障りのある方はお申し出ください。」の一言付け加えていただきたい。
※ロゴマークおよびフォントの統一、個人情報保護について詳細の説明あり

政策委員会大勉強会動員について

→当日に向けて各支部動員目標を確認
（長崎）両地区会でそれぞれ追加30名
（大村）追加5名
（諫早）追加10名
（島原）追加3名
（佐世保）追加5名
（北松浦）追加7～8名
（五島）追加1名
また松浦市の条例に関して、12月の市議会で提案し、2015年4月施行に向けて動きが加速している

ウエスレヤン大学・諫早支部包括連携協定書調印について

→6月27日調印式。産学の連携としてスタート地点に立ったと思う。今後さまざまな形で連携を考えている。支部内にも窓口となる委員会を設ける

外形標準課税に関してその後動き

→他県の状況を見ながら長崎同友会の取り組みを協議。埼玉同友会の事例を参考にしながら署名活動を行うことを決議。具体的な内容は次回理事会に提出。また、まずは各会員が勉強し、理解することが大事であり、自社のこととしてとらえる必要があるため各例会冒頭15分程度説明をいただく場を設ける、ツールを作成いただくなどの案もあり。7月23日政策委員会勉強会時にも内容に少しふれる予定もある。政策委員会ではどのように動くか検討も始める

女性経営者全国交流会参加報告

→詳細は広報誌にて確認。女性部発足の動きもある。

決議事項確認

- ・6名の入会、1名の交代、4名の退会を承認
- ・「長崎県中小企業家同友会会員之章」シールについて、

- 1000枚作成、2枚目以降100円（税込）で販売することを承認
- ・仲間づくり委員会からの提案について、優秀支部賞として50,000円相当のトロフィー的な陶器、優秀スポンサー賞として10,000円×3回（7月・10月・2月）合計80,000円の予算を承認（陶器の保管は各支部・地区会とする）
- ・ビジョン委員会からの提案について、再度委員会で協議し理事会へ提案
- ・第21回経営フォーラムについて、メインテーマ、サブテーマ、基調講演者と内容、分科会報告者と内容、参加費、大枠の予算の方向性を承認

（基調講演および各分科会）

	報告者	内容	座長（司会）	室長	報告テーマ
基調講演	都築 富士男		中牟田 喜成		ローソン再建に学ぶ企業経営
第1分科会	橋本 桂子 (出島地区会)	経営戦略	西村 浩文	山 崎 功	人が輝けば企業が輝く 100年企業を目指す企業成長の実践報告
第2分科会	小林 秀司	共育関連	西山 浩之	土井 幸喜	人を大切にする経営が進化する
第3分科会	上田 五月男 (島原支部)	事業承継		中牟田 喜成	チャレンジと改革の承継道 ～やらないよりやって後悔したい～
第4分科会	吉田 周生	障がい者雇用	原田 良太	中村 真一郎	障がい者雇用が地域社会の活性化へ 一人ひとりの幸せの実現を目指して

- ・ダイヤモンドクラブからの名誉会員、功労会員に関する提案について、各支部役員会で協議し理事会へ報告。またダイヤモンドクラブに対する要望、意見なども集約し事務局または三役会へ提出
- ・名簿&活動の手引き2冊目以降の販売価格について1,000円（税込）とすることを承認
- ・中小企業家同友会ポスター作製について、デザインに関しては採用者および参加者への謝礼金および8月理事会でデザインを審査することを承認。印刷に関しては再度三役会で協議し次回理事会へ上程
- ・事務局について、支部、委員会を担当制にすることを承認（担当以外の支部、委員会にも1回は参加できるような体制を組む）。また健康診断、予防注射、家族手当半日有給の取得に関する就業規則の変更、追加を承認。健康診断については次回理事会で診断の内容を報告
- ・外形標準課税適用拡大に関するアクションについて、長崎同友会として署名活動を行うことを承認。他県の事例を交えながら次回理事会で具体的な内容を確認する。また会員全員が理解できるよう、例会の冒頭に内容に詳しい税理士会員から説明をいただく、また資料を作成いただくなどの方向性も確認
- ・各支部、今期の会員目標に対し、達成することを宣言し理事会で確認
- ・（株）ミヤタ代表取締役藤原義一氏の訃報に伴い、合同葬ということから規定に従って対応することを確認

その他

諫早支部20周年記念式典開催

→各支部3～5名の参加要請あり

次回日程－8月7日（木） 19時～ つくば倶楽部

会員消息

会 員 数（7月1日現在）

	長 崎（浦上）	（出島）	大 村	諫 早	島 原	佐世保	北松浦	五 島	合計
目標	227	127	100	67	80	50	120	40	624
期首	201	115	86	57	54	40	99	33	509
現在	197	114	83	58	56	39	100	34	508

退 会 者（敬称略）

会 社 名	会 員 名	支 部・地区会名	入会年月
（株）コネクト	山 本 眞	長 崎・出 島	2008年12月
（株）ミラージュ	松 本 由也	佐 世 保	2013年 2月
サンファーム（株）	江 川 勝	五 島	2013年10月
（有）草野ファーム	草 野 俊 郎	五 島	2013年10月